

ふりがな 氏名	よこはり としき	都道府県	東京都	
	横張 寿希			
所属/肩書	一般社団法人 DAKKO / 代表理事			
関心・活動の SDGs	 4 質の高い教育を みんなに	 11 住み続けられる まちづくりを		
私のESD活動	子どもの自己肯定感の向上のために、親御さんのストレス・不安軽減・子どもの居場所づくりの活動を行っております			
活動の概要				
<p>現在は、親御さんのストレス・不安の軽減のために、子育てに関する相談が気軽にできる Line bot の開発を行っております。悩みは持っているけれども直接人に聞きづらい、聞ける人がいない、なかなか外に出る時間がないなどの事情をお持ちの親御さんが、気兼ねなく相談できるツールとして Line bot を活用します。地域の保育士や子育て支援員・親御さんが集まり、よく聞かれそうな質問内容を想定し、回答内容などを決め、Line bot に取り込むことによって、Line でありながら、保健師や保育士の方に相談に伺えるような仕組みをつくるために、活動しております。また、放課後の居場所がない児童向けに学童保育開設のため、活動しております。かつて小学生以降の放課後の居場所だった公園や祖父母の家がなくなり、学習塾などのカリキュラムの固定化されたものを中心に、子どもが一から何か考え、目標・夢・やりたいことを見つける空間・安心できると思う自分の居場所は減少しています。その結果、子どもの自己肯定感低下に拍車がかかっております。一から何かを考える仕掛けづくり、大人の見守り体制・社会人として必要な主体性・コミュニケーション能力などが育めるような空間づくりに向けて活動しております。</p>				
<p>・一般社団法人 DAKKO HP https://dakko-kosodate.com/</p>				
私が考える教育の未来像				
<p>主体性や課題解決力・コミュニケーションなどの非認知能力がより重視され、その非認知能力の基礎となる自己肯定感が重視される教育を理想と考えます。非認知能力をスタートとして、学ぶことへの意欲や動機付けを確かなものにし、勉強に対しても主体的に自分から学べるような環境を整備することが重要だと考えております。そのために、教育のカリキュラムの変更やテストの再編、放課後の居場所などを非認知能力が生かされるための場所として再定義し、職員配置や評価の基準などが変更されることが、私の夢見る教育の未来像です。</p>				
私の強み、活かせる経験やスキル				
<p>現在、親御さんのストレス・不安の軽減のための活動を行っており、子供のみならず、親御さんの視点にも立って提案や意見を行うことができます。また、現在会社員としては会社で働く人のモチベーションや評価制度・また制度設計に関する知見は生かされるのではないかと考えております。また、地域とのつながりを重視しながら活動を行っているため、地域のあらゆる職種の方がみんなで課題解決に向かうための環境づくりなども行っているためその点でも生かされると考えております。</p>				